

～業務をデジタル化するための第一歩を学ぶ～

DX・デジタル化の進め方

研修のねらい

AI、IoT、RPAなどのデジタル技術が急激に進展しており、今後5Gの普及によりさらなるDX・デジタル化が予想されます。コロナウィルス感染症の影響によるリモートワーク等の職場環境対応や労働生産性の向上など、中小企業におけるデジタル技術の活用もより一層重要となってきています。本研修では、DX・デジタル技術の進展が中小企業に与える影響を理解したうえで、実際にデジタル技術を活用して成果を上げている中小企業の事例や最新のデジタルツールの活用法を押さえ、自社のデジタル化に向けた構想を検討します。

研修のポイント

- ✓ DX・デジタル化の進展が中小企業に与える影響を理解します。
- ✓ 最新のデジタルテクノロジーと中小企業での活用法が学べます。
- ✓ 自社のビジネスモデルや業務プロセスを整理し、デジタル化に向けたイメージを描きます。

研修期間

2025 年

12/11(木)～12/12(金)

(2日間、14時間)

対象者

経営幹部・管理者

- ・ DX のイメージを掴みたい方
- ・ 最新のデジタルテクノロジーを把握したい方
- ・ 自社のデジタル化に向けた第一歩を踏み出したい方

定員 20 名

受講料 22,000 円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13

大阪国際ビルディング

月 日	時間	科目	内容
12/11 (木)	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40	なぜデジタル化が必要か	DX(デジタルトランスフォーメーション)の概念や中小企業にも導入可能な最新のデジタルテクノロジーについて事例を通じて学び、デジタル化の進展が中小企業に与える影響やデジタル化しないことのリスクについて考えます。 ・ Society5.0がもたらす社会変化(デジタル化しないとどうなるか?) ・ DX(デジタルトランスフォーメーション)とは ・ 生成AI活用の基礎 ・ ありがちな失敗事例から学ぶ、導入前に必ずやるべきこと
	13:40-17:40	デジタル化による業務プロセスの見直し(演習)	デジタルツールを活用して業務をどのように自動化・効率化していくかをケース演習を交えて学びます。 ・ 業務プロセスの可視化、デジタルツールの活用 ・ 業務プロセスの自動化、効率化を考える(演習)
12/12 (金)	9:30-12:30	デジタル化による業務プロセスの見直し(演習)	(前日の続き)
	13:30-17:30	自社のデジタル化構想(演習)	研修のまとめとして、自社にあったデジタル化のビジョンを描きます。 ・ 自社の現状分析と課題 ・ 自社のデジタル化構想(演習)
	17:30-17:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：14時間20分

※カリキュラムは都合により、変更になる場合がございます。

講師紹介(敬称略)

株式会社カレッジフェイス
代表取締役

岩岡 博徳(いわおか ひろのり)

1973年生まれ。横浜市立大学商学部経営学科卒業、東京都立大学大学院経営学修士(MBA)。中小企業診断士、ITコーディネータ、東洋大学大学院経営学研究科特任教授。総合電機メーカー系商社で経営企画などに従事し、2004年に経営コンサルタントとして独立開業、2008年に法人化し代表取締役に就任した。自社でのマネジメント改革を通じ、ITによる業務効率化や事業計画策定、PDCA型マネジメント導入を得意とする。現在は事業承継を行い、省庁や都県等の公的機関、金融機関を通して数多くの中小企業支援を行っている。